

日本脊椎脊髄病学会 平成 23 年度第 2 回国際委員会議事録

日時：平成 23 年 10 月 27 日（木）7 時～8 時

場所：石橋文化会館 1 階会議室

出席者：富士武史理事、岩崎幹季委員長、鑑邦芳、石井祐信、小西宏昭、清水克時、豊根知明、長谷川和宏、湯川泰紹 各委員、松山幸弘アドバイザー、事務局宮本

報告事項

1. 第 41 回学術集会会長に English Poster Session と English Poster Award の設置を依頼し、受付が 26 日に終了した。59 演題の応募があった。
2. 企業寄附実績報告 6 社から計 950 万円の寄附があった。アルプレッサファーマからも年内に 50 万円の寄附がある予定(計 1000 万円)。
3. 学術集会への外国人招聘予定者のうち、韓国・台湾の会長（1, 2）は講演を予定。残る 3 名のうち 2 名（3, 4）は内諾済み。この 3 名には English Poster Session の座長を依頼する予定。
4. 来年度の ATF,VSP 応募受付を 11 月に行い、委員の先生方には 12 月に審査をお願いする予定。

審議事項

1. 委員の業務分担について

業務増加に伴い各委員に業務を分担する。

(ア) ポスターアワード関連（湯川委員）：来年の学会の詰めと来年以降の実現に向けてのマニュアル作成。毎年同様に行えるよう国際委員・学会事務局・主催校・学会運営会社の役割分担を明文化する。

(イ) 国際委員会からの招聘者（豊根委員）：国際委員会からの招待者候補の絞り込みと連絡を担当。委員会で候補を選定し、主催校・学会運営会社との連絡役を担う。

2. 学術集会主催校からの国際委員会委員選出について

以下の提案が承認された。

・毎年、主催校から 1 人の先生を”学術集会アドバイザー”として国際委員会に 1 年間在籍していただく。人選は学会長に一任する。

毎年理事会にて国際委員会の理事から提案していただき、学会の決定事項として踏襲する。

アドバイザーは学術集会に関する業務のみ参加する（主に English アワードと外国人招聘）

任期中に 1 回か 2 回、国際委員会に出席する

任期は 5 月から翌年 4 月（当該学会準備期間～終了まで）

〈来年の場合〉

平成 24 年 1 月の理事会において富士理事より「学術集会主催校は国際委員会にアドバイザーを 1 名推薦し、1 年間在籍すること」を議題に挙げ審議していただく。

承認され次第、富士理事から第 42 回学術集会長の戸山芳昭先生に文書にて推薦を依頼する。アドバイザーはメール審議と委員会に出席し、国際委員会・主催校・運営事務局の窓口となっていく。

3.学術集会時の招聘者接待について

外国人招聘者の滞在中の接待を主催校と国際委員会のどちらが行うか：主催校が行わない場合には、委員会で行う。

外国人限定の晩餐会を開催する場合、主催校と国際委員会のどちらが企画するか：委員会でを行うが、主催校が開催を予定している場合には合同で行う。次回の学会では主催校には開催予定なく、委員会主催で2日目の夜に行うこととする。

4.English Poster Session と Award の詳細について

- ・ 審査員の決定：発表と審査の日程は1月頃決定。その日程に参加可能な委員で構成する現時点の予定では初日（19日）にポスター展示とオーラルセッション40分間の枠を設けているが、プログラム上は延長が可能。
- ・ 審査の流れ
 - ①コングレがメールで受付（終了）
 - ②コングレから委員長に抄録を送付する
 - ③委員長と委員が査読
 - ④Top10題の採択者に発表の日程を連絡する。
 - ⑤審査基準の設定：前述の発表者10名を審査。基本的には外国人優先。同点の場合には年齢の若い方を優先し、点数順に5名受賞。ただし審査法は明文化しない。
 - ⑥審査基準に基づき審査表の作成
 - ⑦会場にてポスターの貼り出しと口頭発表
 - ⑧委員による審査（会議室に参集）
 - ⑨賞状の作成（デザイン、印刷、受賞者氏名印字はコングレに依頼）
 - ⑩表彰と賞金授与：現段階での予定は全員懇親会（初日19日夜）で表彰者は学会長。
 - ⑪税金：源泉徴収額を上乗せし、手取りの賞金額を10万円とする
源泉徴収額は日本人の場合1人あたり11,111円

5.フェロー受入施設への感謝状について

毎年フェローを送っている施設長に何らかの報告兼感謝状を送るべきではないか先方に、いつ誰が訪問したことを記載して、理事長名で感謝状を送る。

文章作成は委員長が調査検討する。

次回の委員会は平成24年1月19日夜8時から、日整会専門医試験会場であるホテル日航（東京台場）で行う。